

# しいの実・たんぽぽ・みず

## 8月 クラスだより

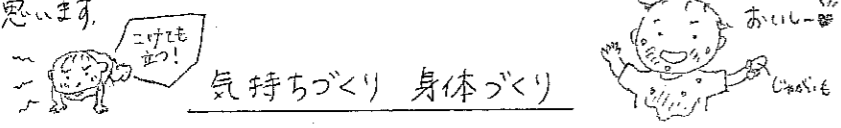
円町まふね隣保園

### しいの実ぐみ

今年の夏は短いように感じますが、とても暑い日々が続いています。暑い中でも水遊びやプール遊びで水に触れ、気持ちいい不思議な気分...等様々な思いを感じて子どもたちは過ごしていました。来年の夏はもっと水と仲良くなって楽しんでほしいと思います。

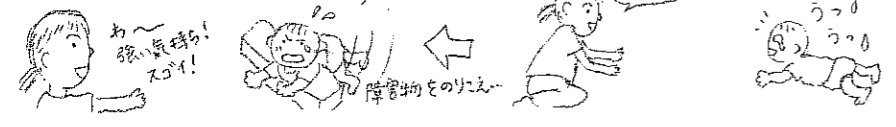
### 食べる力は生きる力 part 2

7月のクラスだよりで自分で食べる大切さをお伝えしましたが、お家ではどうでしょうか？園では手も服も食べ物がついたり落ちたりして汚しはがら夢中で食べています。手ごみで食べたいのには上手く口の中に入れてくれます。机をバンバン叩いて「たべられないよ〜」という思いを表現する子ども。口の中に一度は食べ物を入れても味が気に入らなかつたり、うまくめずにポロポロと口から出るともいます。そしてゆっくりかんで少しづつ自分のペースで食べる子どもも...色々な姿があります。大人から見れば遊んでいるように見える姿も、今その子どもにとっては大切なこと、色々なことを学んでいるのだと思います。見守っています。生まれて間もない子どもたち、できなくて当然です。毎日の繰り返し、積み重ねの中で、自分の意志で食べられることは幸せなことだと実感していければと思います。



保育室には滑り台や階段があり、登ったり降りたりしています。涼しい時はバランダに出ようと15cm程の段を乗り越えています。散歩へ行く時もすぐに抱っこ等はせず、出入口まで歩く、ハイハイ、すり這い等を促し、自分で行こうと思えるように待つようにします。帰ってきた時は保育室まで階段を一段一段よじ登り、先へ進めるように保育者が意識して声を掛けています。

子どもが泣いた時も大人の方からすぐにはかけ寄り、抱っこやあやぶばかりではなく、子ども自ら周囲の大人を求められるよう言葉を掛けつつ、少し待たせ、自分で意志表示をして行動につなげることを大切にしています。困った時はどうすれば良いのか？毎日少しづつ自分で考えているようになればと思います。



暦上、立秋(2020年は8月7日)を過ぎれば「秋」とされていますが、まだまだ日中は暑い毎日です。しかし、真夏とは違い、陽が沈むのが、段々はやくなり、早朝は、ほんの少し涼しく感じられる日があります。セミの大合唱が始まり、少しづつ秋が近づいてきているように感じます。とはいえ、日中の暑さは、こたえます。これからも、水分補給をしっかりと、休息の日も取り、毎日を健康に過ごしたいと思えます。

### たんぽぽぐみ

#### プールあそび

8月は毎日のようにプールに入りました。7月、プールに入るようになった頃は、見慣れない環境や初めてのことで、緊張していた子どもや、少しでも顔に水がかかると泣いていた子どもたちです。しかし、毎日、プールで水に触れているうちに、水の中に入ってあそぶ楽しさを知って行きました。また、2つのグループに分かれて入るようになり、控めであった子どもたちが、周りを気にせず、大胆にのびのびと肩まで水に浸かり、少々の水しぶきは動かないで楽しみ、大胆であった子どもたちは、更に水しぶきを上げて楽しんでいました。プールは8月で終わってしまいますが、9月も水あそびや泥んこ、感触あそびも楽しめようと思っています。

※9月もシャワーや水あそびをします。こねまて通り、夕れ、服などの朝の準備をお願いします。



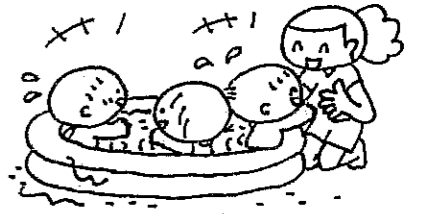
#### イイよ..

ひとりあそびの世界から、周りの環境(人や物)に興味を持ち、友だちにも積極的に関わる姿があります。それぞれの「こうしたい。こうしたい」という「つもり」の気持ちは一方通行です。そんな中で思いがぶつかり、友だち同士のトラブルも多くなっています。言葉で伝えられず、手や口が出てしまうこともあります。こうした思いのぶつかり合いの中で、少しずつ、相手の気持ちや思いの違いに気付いていく大切な成長の過程でもあります。「アーンはダメよ」、「コナンはダメよ」と伝える前に「○○したかったんやな」、「○○かやめたんやな」としてしまったりしてしまったりと、なぜ痛いことになってしまったのかに目を向けて、思いを伝え合っていくと思います。



暑い日が続いていますが、毎日プールに入り、水に触れて気持ちよさそうに過ごしています。顔を水の中につけられる子どももいて、「見ててや!」と伝えてから顔を付けてうれしそうです。少し水がかかることが苦手な子どももいますが、水に触れることを積み重ねていくことで徐々に慣れていきました。保育室の中では、メダカやザリガニ、カブトムシなどの生き物がいます。水槽や虫カゴを机の上に置くと、囲んでのぞきこんでいます。室内外の気温が高くて暑く、汗をたくさんかくので水分補給を心がけ、今後も快適に過ごしていきたいと思います。

子どもたち同士のやり取りの中では、「昨日こんなことをしたよ」や、「こんなことをして遊んだ」と伝えあっています。また、仲の良い子ども同士でままごと遊びやごっこ遊びを楽しんでいます。「貸してあげる」「ありがとう」「貸して」など言葉のやり取りもあります。おもちゃを貸してもらった時に「貸してもらった」と嬉しそうに話していると、保育者も心が暖かくなります。



#### 「どうして?」「これなあに?」

遊びの中で子どもたちが色々な質問をしてくることがあります。子どもが身の回りの色々なことに興味を持ち始めてきています。子どもたちは「どうして?」「なんで?」と聞くことで、言葉の世界、知識をどんどん広げていきます。子どもの「なあに?」には、出来るだけ丁寧に答えてあげましょう。ひと言、「○○だよ」と言葉を返すだけでなく、より詳しく言葉のおまけをつけると、言葉の世界も広がります。そこからまた「なあに?」「なぜ?」に繋がっていくのです。子どもの質問が長く繋ぐなら「○○ちゃんはどう思う?」と聞き返し、考える時間を持つことも大切になってきます。

